

あなたがここにいるから・・・

全校集会・・・

先日、全校集会を行いました。今月の全校集会は、「校長の話」です。日常、校長が直接子供に授業をすることはありません。だから全校集会は、私にとっては、子供たちに日ごろの気持ちや考えを伝えられる貴重な場です。気合十分に臨みました。

まず、コンクリートの塊を見せて、子供たちに知っていることや思ったことを尋ねました。

「コンクリートは堅い」

「頭に当たったらけがをする」

「頑丈な建物に使われている」

ひとしきり自由に話させた後、次のように尋ねました。

「このコンクリートの塊に穴をあけることはできますか？」

すると、

「硬くて無理です」

「ドリルがあったらあけられるかも」

「機械が必要です」



そこで、左の写真を見せました。

この写真は、昨年私がバス通勤の途中に見つけた、ある建物の前の玄関アプローチです。よく目を凝らすと、真ん中付近にぽっかりと穴が開いています。

「この穴はだれがあけたのでしょうか？」

保護者の皆様は、もうすでにお分かりかと思います。この穴は、雨の日、上にある雨どいから、ちょうどその部分に雨だれがたたたり落ち、長い年月をかけてできたものです。

「この穴をあけたのは、実は、雨つぶなんです」

子供たちはいちように驚きの声をあげました。

そのあと、「計算の練習、漢字の書き取り、スポーツの練習など、みんなが日ごろがんばっていることは、どんなに地道なことでも、粘り強く続けることで、必ず成果に結びつく」ということを伝えました。

『雨だれ、岩をもうがっ』

雪小の36名の子供たち、これからも、それぞれの目標に向かって、努力を続けてほしいと願っています。

受賞、おめでとうございます

全校集会では、あわせて表彰もおこないました。今回は、次の3名について全校で受賞の喜びを分かち合いました。

○小林一茶第21回全国小中学校俳句大会

・特選 2年 久保拓都さん

○佛教大学第15回小学生俳句大賞

・佳作 2年 藤崎玲奈さん

・佳作 3年 堀川蒼二郎さん

本当におめでとうございます。この受賞も、これまで粘り強く俳句に取り組んできた努力のたまものです。

全校での俳句の取組も、まもなく始まります。今後、本通信で紹介してまいります。

「打てば響く雪小っ子」

前述した全校集会では、登校時のあいさつを36人全員が行えるようにもっとがんばってほしいといった話もしました。すると、次の朝には、これまで以上に元気な挨拶が聞こえてきました。

さすがは、「打てば響く」雪小っ子です。

(文責 校長)